

# 情報連絡員報告

(令和7年5月期)

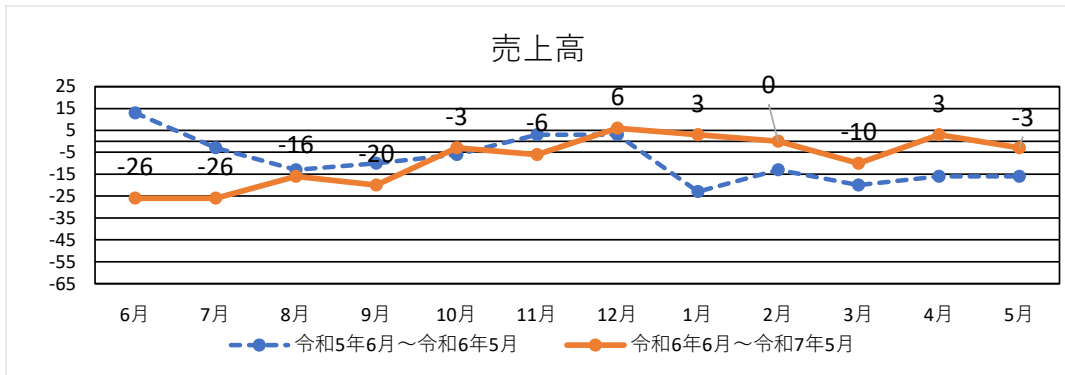
情報連絡員 30名  
回答者数 30名

## 全体概況

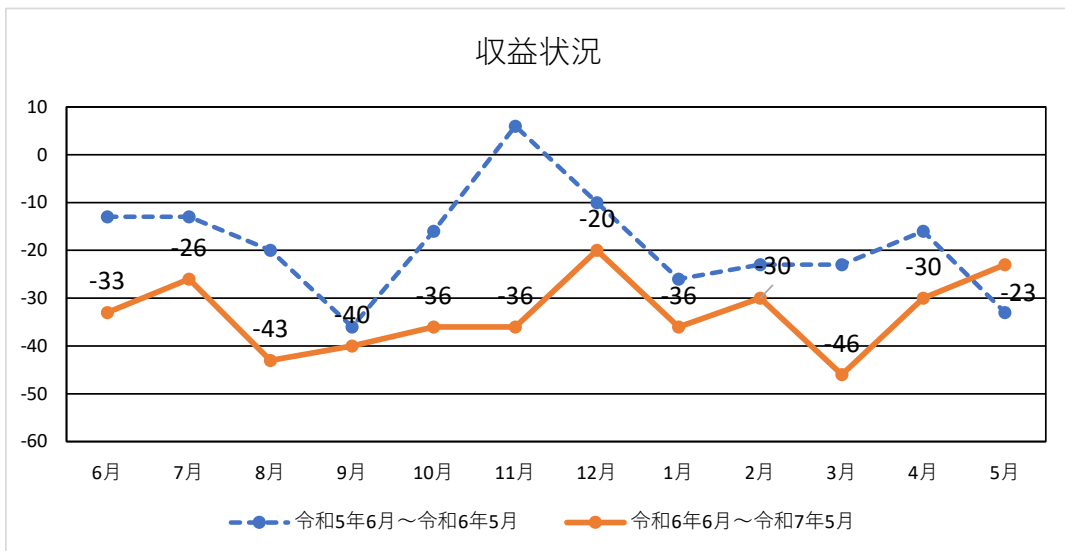
DI値は、前月と比較して、売上高は6ポイント低下、収益状況は7ポイント改善、業界景況は10ポイント低下となった。

## 1 主要3指標DI値推移

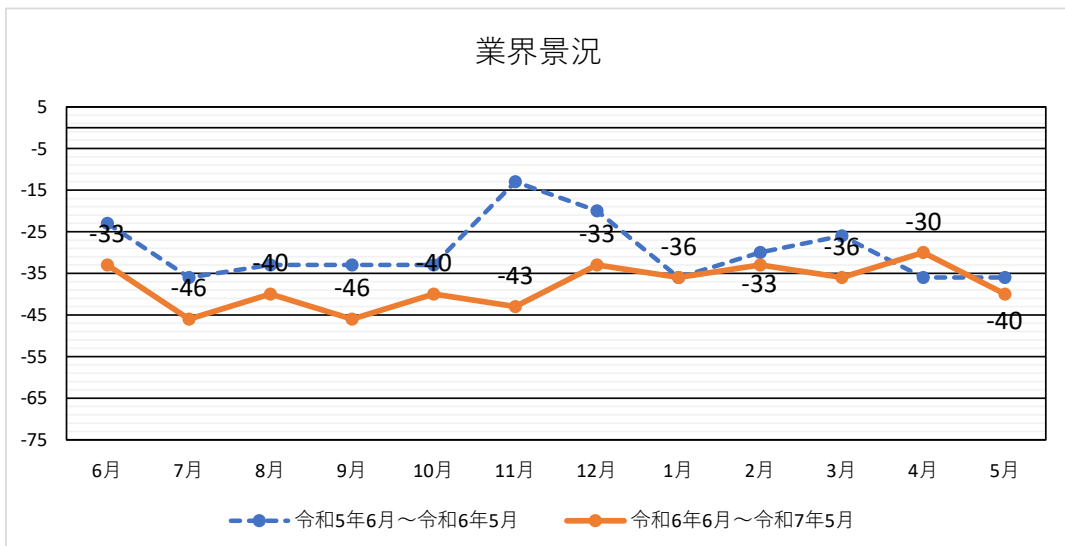
### (1) 売上高



### (2) 収益状況



### (3) 業界景況



## 2 前年同月比の業種別景気動向

(DI値)

		売上高	収益状況	業界景況
製造業	食料品	↓	→	↓
	木材・木製品	↗	↗	↘
	出版・印刷	↑	↓	↓
	窯業・土石	↓	↓	↓
	鉄鋼・金属	↑	→	→
非製造業	卸売	↑	→	→
	小売	↓	↓	↓
	商店街	↓	↓	↓
	サービス	→	↘	↘
	建設	→	↘	↘
	運輸	↑	↑	↓

↑

↗

→

↘

↓

(30以上) (10~30未満) (△10~10未満) (△30~△10未満) (△30未満)

※DI値 = [(増加・好転組合数 - 減少・悪化組合数) / 調査対象組合数] × 100

※網掛けについては、特に悪化した項目

## 情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	木材・木製品	製材業	需要の回復の兆しが見られない。
	木材・木製品	製材業 (プレカット)	5月の生産坪数は、概ね先月並みで推移した。昨年同月比では、昨年度の5、6月の受注が特に低調であったこともあり、2割程度増える結果となった。ただし、本日付の新聞報道によれば、全国の4月新設住宅着工数は3ヶ月ぶりに減少 (前年同月比では26.6%減)、持ち家・貸家・分譲住宅のいずれも減少しているとのことである。1月から4月の累計では前年比101.3%と微増ではあるが、これは建築基準法改正前の駆け込み需要の反動が出ているものと考えられる。6月以降の着工数の落ち込みがどの程度になるのか、非常に心配である。
	木材・木製品	木製品製造業	原材料費、人件費、その他の経費すべてが高騰しており、厳しい状態が続いている。
	印刷	印刷・同関連業	なかなか受注が伸びない。打開策を模索しているが、機械の老朽化が進んでおり、思うように進まないのが現状である。
	印刷	印刷・同関連業	受注状況は多少上向いてきたものの、依然として市場の動向は鈍く、経営状況が厳しい事業所が多い。総務省のDX推進政策により、地方自治体は予算の多くをそちらに投入しているためか、例年にも増して物件が出ていない状況である。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	5月単月出荷数量は昨年同月比82%、累計では昨年同月比95%となった。大型物件の出荷開始待ちの状況が続いており、梅雨入りも重なって厳しい出荷状況が続いている。一方で、通常総会は無事に終了し、昨年度決算の配当としては十分に満足のものとなった。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	前年同月と比較すると26.3%の実績となる。価格は値上済みであるが、さすがに少なすぎる数字である。来月以降の推移に期待する。
非製造業	小売業	機械器具小売業	米国の関税の件で状況や様子を見る形となったため、中古車市場は安定しなかった。また、原材料や人件費高騰が経営を圧迫している状況でもある。
	小売業	石油販売業	国の燃料油価格激変緩和事業による定額引下げ措置が、5月22日よりスタートした。ガソリン・軽油については、数週間かけて10円の補助が行われ、灯油・重油については5円が補助される。
	小売業	LPGガス小売販売業	5月合成CP価格(サウジ通告価格)は612.5ドル/トン(前月比△2.5ドル/トン)。4月MB価格(米国産平均価格)+(物流経費90ドル/トン)は467ドル/トン(前月比△77.0ドル/トン)。対顧客電信売相場(4月平均)は145.49円/ドル(前月比△4.76円/ドル)。OPECプラスが3日オンラインで開催した会合で、5月から日量41万1000バレル生産を拡大すると発表したこと等により原油価格が減少。MB価格はつられる形で減少したが、合成CP価格については中国による報復関税の影響で先月同様微減となった。
	商店街	宮崎市	食料品の高値やその他日用品の高値により、衣料関係品に対する購買力の低下が顕著である。
	商店街	都城市	ここの連の米騒動は飲食店関連にも影響が及んでいる。特に仕入れ価格の上昇は天井知らずである。米の安定供給については国が責任を持って管理してもらいたいものである。選挙前ということもあり、いろいろな制度変更に関するニュースが流れている。各商店もその動きに期待しているところであるが、肩透かしとならないことを期待したい。
	サービス業	観光業	5月は繁忙期であったため、組合員は九州各地や山陰、山陽地方を飛び回った。もう少し組合員の確保ができれば売上も向上すると考えるが、現状ではなかなか難しい。今期も安全に、ケガや病気もなく無事に終えることができ、安心している。これからオフシーズンに入るが、今回の仕事先で見つけた課題に取り組み、秋の繁忙期に備えたいと考えている。
	サービス業	自動車整備業	今月の入庫台数は前年比約10%増であった。ただ整備士不足で入庫が重なってしまうと、休日出勤で対応しないといけない状況になることがある。
サービス業	自動車運転代行業	5月はゴールデンウィークの影響もあり、繁華街への人出が少なかったように思われる。駐車場についても、飲酒をせずに運転して帰る方が増えているように感じる。	

報告者名

宮崎県中小企業団体中央会

報告年月

令和7年5月

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
建設業	管工事業	新年度から共同受注配分工事として組合員の売上補完工事となっていた宮崎市上下水道局委託の鉛製給水管取替業務が、大幅な減少見込みである。これに替わる工事の確保が望まれる。
建設業	管工事業	民間の住宅着工件数はやや増加傾向にあるが、公共工事については年度初めということもあり、発注件数はまだまだ少ない。また、最近では耐用年数を経過した水道管の漏水事故が頻発しているように思われ、今後さらに増加が予想される。その中で、人手不足や技術者不足の状況下で対応できるかが懸念される。
運輸業	軽貨物運送業	5月度は新規案件の相談があり、現在見積作成中で金額設定に苦慮している。本来であれば、法改正により適正な価格での取引が政府から求められているが、地方では割安な業者を優先して探す傾向が強く、成約に至らないケースが多いと感じる。燃料関係が高止まりの状態であるにもかかわらず、安価な料金設定が求められ、適正価格での受注は困難な状況である。他の貨物軽自動車運送事業者も同様の状況であると考えられる。組合員の高齢化も深刻であり、対策を講じる必要がある。
運輸業	貨物運送業	原油価格は、イスラエル軍がガザ地区に大規模な地上作戦の開始を発表したことによる地政学リスクの再燃が上げ要因となる一方で、OPECプラスの増産に対する供給過剰懸念が拭えない状況と、今後米国が複数の貿易国に対して関税率を設定するという発言が下げ要因となり、相殺し合う展開になると見込まれる。しかし、国内市場価格は、政府が表明した燃料油価格定額引下げ措置が実施されており、下落の見込みであるが、組合員は継続的に安定した適正価格での供給を望んでいる。